

3R瓦版 (2月号) 2019年



© 2019 フジコ イトウ All Rights Reserved.

『もったいない』を活かせる

もったいない物や現象に気付き「これ何とか成らないかな?」と考え、工夫して活かす事が出来れば儲けものですが、物や現象に対し気にしない放ってしまえばそれでお終い、どうしても無い物事まで考える必要はないのであれば、ゴミとして廃棄し整理整頓する方がましでしょう。意外と気にもせず放ってしまう人が多いものです。

我々物作り産業では4M(man:人、machine:機械、material:材料、method:方法、)のムダや稼働率低下、不良率のムダなどを経営上重要な管理項目として取り上げて、その為に人の教育や技術向上に日々努力をしています。

家庭や会社や各種の団体でも「これはもったいない」と気付く人に育てて欲しいと思います。

私はもったいない物や現象を鋭く追求し、これらを応用したり工夫し考案する癖があり、発明家に成りました。

もったいないに対する考えや工夫はケチではありません。

ケチな人は他人から見抜かれるし成長も無く大成もしないと思います。

昨年クリスマスイブの日、TVドラマ「下町ロケット」に引き続き「林先生の初耳学」を見ていた折、その番組の中で広島地区の水害被害で善意で贈られたはずの千羽鶴が一定期間置かれた後ゴミの山として数10トンにもなり、有難迷惑になっているという話題にそんな言い方は無いだろうと関心を持って見ていました。

しかし焼却処分すればお金がかかる場所、それが何と再利用されてTシャツに成るといった話でした。

その工程は製紙原料の様に色抜きをしてシート状のパルプ材にし→綿状に粉碎→糸に加工して、その糸を使用してTシャツを作っているということで、近代の技術で紙から糸を作ることくらい専門家で有れば可能であろうと思いますが、それよりもここではお金を払って焼却することを「もったいない」、「何とか成らないかな」、「何かに使用できないかな」と考えた人は、地球環境対策に対する大きな貢献をされたと思いました。

皆さんも家庭や職場での物、時、金、などの無駄な現象について考えてみませんか。



REPAIR FACTORY (有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254

エーシック株式会社 神野 勝